

集落と農業を次の世代につなぐ

2019年6月1日（土）厚生連高岡病院地域研修センター I

農事組合法人「おくがの村」代表理事組合長 糸 賀 盛 人 氏

皆さんこんにちは

百姓なら今頃牛乳を一杯飲んで昼寝の最中です。

32 - 33年前に世界で初めて集落営農型の法人を作りました。日本初と言うかイギリスに登録されると思っています。いろんなところで講演させていただいていますが、主に農業関係や国の研修会などです。病院関係での講演は初めてであります。厚生連の元祖で鳥根県石西厚生連の大庭政代さんの地元であります。「利のために節を遣えず事業を積極的に経営すべし、而うして常に新機軸を出すべし」という大庭政代さんの地元であります。

おくがの村の30周年記念で、鳥根県が予算を持ってきて記念ビデオを作りました。それをご覧いただいてそれからあと少しばかりお話をさせていただきますと思っています。宜しくお祈りします。(拍手)

(ビデオを上映20分)

今、ご覧になっていただいたのが一昨年の撮影です。あれから2年たっておりますので、もう2年たったら、35周年記念をしなければならない。これまで10周年20周年、25周年とやってきました。なぜ25周年をやったかという、年寄りは何時死ぬかわからないから5年刻みで25周年をして30周年をして再来年35周年ということ。私のモットーは20数年前から全国を講演して歩くのに、とにかくピンピンコロリで行こうというお話でありました。要は、百姓は酒飲んでタバコを吸って辛い物を食べて一所懸命仕事し

て、そこで石にけつまずいて、こける事故死です。そうすると農協の共済保険3倍保障で残された遺族が大喜びです。それをモットーに私はズーと講演し続けておりました。たまたま鳥根県はいろんな事情がありまして、農協合併をいち早く行い鳥根県は1農協にしました。実は連合体の中に厚生連が入っておりその理事をしております。ある時理事の方から、「糸賀やおまえも農協中央会の理事なら、たまには厚生連の人間ドックを受けてみたらどうだ」と言われました。たまたま去年12月の初旬に、「おくがの村」の近くに来たので受けました。初めて胃カメラを飲みましたが、胃癌だと言われステージ4か5で手術をしました。ですが、私のモットーは、ピンピンコロリです。それは今も変わっておりません。ということで今日到着した次第です。

(農事組合法人「おくがの村」の設立)

今のビデオですが、あの頃毎日毎日缶ビール2Lの時代でありまして、このビデオ中での私の発言、音声はほとんど酔っぱらいの発言であります。昨年は12月末まで毎日ビール2L、夏暑かったのでご飯を食べずに頑張っておりましたが、最終的に胃からポチポチ点滴のごとく血が出ていたのでヘモクロビンが普通の人半分の半分しかなかった。即、緊急入院で輸血の世界も体験しました。ビデオを見てお分かりと思いますが、おくがの村は山口県境で、うちの家から50mで畑も山口県にある様なところ。富山は米の一大産地で、我々からすると平場のコメ作りというイメージがあります。おくがの村

は、皆さんご承知の通り本当に山の中で中山間地
であります。だいたい百姓というのは何が一番嬉
しいかという、隣に不幸があったら一番うれし
いのです。隣に蔵建てばわしゃ腹が立つ。我田引
水という言葉は水から出た言葉ですが、田圃に水
が入るとると思って見に行くと、水が入っていな
い。夜中に格闘ですからねー！水路から水を取り
に来る。それで隣にトラクターを買えば買わなけ
れば、家を建てれば自分も建てなければと、富山
もそうでしょうが軒新築すると次から次へと建
つ。ましてや今頃農村には貧乏人がおりません。
よっぽど無い人は生活保護であります、うちの
集落でも隣の集落でもおくがのに生活保護を受け
ている人は、今では中山間地にほとんどいません。
生活保護者がいるのは東京大阪のと真ん中ではな
いでしょうか。

今から30年ほど前、私が39歳の時にいまの農
業法人を作ったのです。なぜ作ったかというそれ
までも機械の共同利用はありました。田植の共
同、昔は結いがあった。結い仕事という、今日
うちの田植えをするから明日うちの田植えをする
からと共同で仕事をしていました。そのころの農
業は完全無機械化、要するに音がしない田圃、ト
ラクターや草刈機が無い、荒起しは牛です。牛は
何を食べるか、草や稲わらを食べる。草を食べ
ると畔の草刈になる。また、刈った草をうちに持
って帰って牛にやる。その牛が仕事をしてくれる。
今日お昼にキューバの話聞かせてもらいましたが、
キューバが今、有機で世界的にすごいことにな
っている。やっぱり有機となると元は牛、牛が
荒お越しをして代掻き、種をまいて成長したら手
で取って田植する。一人でやると大変なので隣近
所に手伝ってもらいます。その流れが村祭りであ
り、豊穰祭であります。

ところが、だんだん機械というものができて、
はじめは田植機、小さな耕耘機、トラクター、コ
ンバイン、ハーベスターなど、いろんなものが
出てきて今の時代になっている。元々農村では音
がなかった。草刈機が無かった。鎌で草刈り。「の
どかだったですねー！」。中学から高校になって

草刈機、田植機が導入され始めました。それまで
田植を誰がしていたかという母ちゃんと婆ちゃ
んがしていた。田植機が入ってきたら誰がする
かという今度はおっさんがする。今まで婆さんが
田植していたら、おっさんが畔で飲んで焼酎飲ん
で済んでいた。田の中に追い込まれたおっさんが
酔っぱらっているの足下がフラフラ。あっち曲
りこっち曲り、母ちゃんが言う事、あんたが真直
ぐ植えんから不細工になる。それから、あちらこ
ちら抜けている。欠株が多いから補植に入る。「こ
げんとこ嫁に来るんじゃない。あんたはつま
らん、となりのおっさんが上手」と言う。あれか
らうちの方では、お父さんよりお母さんの格が上
がったような気がします。それから田植機を買う
にも当初50～60万円していました。田植機を5
軒で買うことになると、50万円する田植機なら
10万円で済むわけです。それぞれの持っている
田圃の面積が違うので、そうすると余分に出すこ
とになるので50万円を案分しておまえ15万円出
せ、5万円で良いからと現金集めて農協に行って
買います。もともと仲の悪い5人で同じ機械を使
います。取り決めをして、今日は燃料をこれだけ
使ったのだから満杯にしておけよ。或いは一応洗
車だけ、しとけよ。故障したら一応修理しとけ
よ。ところが根性の悪いおっさんがいて、いつ
でも燃料は減ったのが判らん程度に補給しておき
ます。それくらい根性の悪い人の集まりです。も
うちちょっと言うと秋に台風が来て、明日稲を刈ら
なければいけない時に田圃を見に行くと隣の稲が
ベターっと倒れている。うちの稲は倒れていない。
うれしい気持ちになる、口では言いませんけど。
一年目くらいは大丈夫二年目になると、そのうち
の二人のおっさんが今度機械を買う時はあの人を
入れんところ。この間石垣にぶつけてめげていた。
そんな事、あんな事、するうちに2～3年過ぎる
頃には、なんやかんや言いながら男同士が皆バラ
バラになりました。そこへ、たまたま農協のセー
ルスが来て今度買う時はあの人を外しなさい。共
同の力がバラバラになりました。昭和44～45年
頃から農業機械が入ってきて、昭和の代でほとん

どが、協同で買った機械が全部バラバラになってしまいました。個人個人の農家が農業機械を持つようになった。それと高度経済成長時代、皆さん方の中で御承知の方が多くかと思えます。田中角栄さんの頃、所得倍増だから田舎の百姓は早く仕事を終わらせ東京大阪の高速道路建設に出稼ぎに行く、出稼ぎで稼いで農業機械を買った。今、山の中に入ると古い農業機械の残骸が山ほどある。

村の圃場整備をするときに、現在は圃場整備する時は、ほとんど条件が整えば国費で100%国が面倒見て再圃場整備をしています。その当時は自分の田んぼを直すということで自己負担金が必要だった。それをどうするかということで、いろいろ思案した挙句、いままでは個人個人農業機械を持っていたが今度は一緒にやろうじゃないかと、協同の農業機械を利用しようということに決まりました。法人立ち上げの2年前の昭和60年からそのようなことを話し合いました。俗に言うソフト事業。そのことで皆さんに集まってもらって、トラクター、田植機、コンバイン全作業をする施設をつくるのに2千万円かかる。1千万円は県が助成してくれるが1千万円は自己負担。800万円だけ借入して、200万円集めたい。20戸で戸当たり10万円だからみんな出してくれと頼みます。みんな分かったと賛成してくれたのですが、だんだん日にちが迫ってきていよいよお金を出すときになって、わしはあの時やれと言ったが入ったとは言うとらん。うちの農業機械が新しいからまだ入らん。そのうち無くなったら入る。うちの集落の伝統的な宿命です。屋根の上に仕事があるから上がれと言うて、梯子を持って逃げる行為。要するに人を詐欺にかけらんじゃないですが、いざという時には知らん顔をする。20軒あったところが賛成5人、あとのものは様子を見ているか、いずれ潰れるから……。なかには農業機械の協同利用は前に潰れた経緯があるから全く同じことをしても、金の切れ目は縁の切れ目になるから同じことになる。何か良い案が無いかといういろいろ思案しました。そしたらありました。何があったかという農業協同組合です。JAとも言いますが。

農協は何かというと、国で一番の安倍さんの嫌われ者、安倍さんが嫌っているんじゃないですよ、アメリカのトランプさんが、日本の農協を潰して、アメリカの資本下に入れる段取りの中の農協潰しだからね。わかっ取るでしょ！軍備もそうですよ！イージス・アショアを何兆円かけて買う。何でそんなもんがいるのでしょうか！それで一応、農業機械を買うことにしました。農協にみなさん出資しておられます。いまでこそあなたの出資額はいくらですと解りますが、10～15年前は、自分がどれだけ出資しているか出資額を覚えている人がいなかった。なぜいないかということ出資していたら安心する。安心料ぐらい。農協が軽トラックを一台買うとしても、出資している皆さんに相談せずに買う。理事会で決めて買う。誰も文句言わない。それは総代会ということで一席介して酒飲まして、まあまあ、やかましいこと言わないようにということ決まる。そういうシステムをうちの集落でできないかということで、うちの集落で小さな農協を作ることにした。農協改革で国が勝手に、うちに相談なしに農協法第8条を変えた。これは一番の根幹ですよ。農協法第8条に何が書いてあるかということ、「農業協同組合は営利を目的とせず」と書いてあります。最大の奉仕をするのは農協の自由だと農協法第8条に書いてあった。ところが、今回の農協改革でこの8条を削ってしまった。農家に最大の奉仕を無くして、営利を目的としないを削ってしまった。農協はしっかり儲けて農家に配れということだそうです。農協の幹部の方は知っておりますが一般の人は誰も知らない。農協法や農協の組合長を知らん職員もおりますからね。おそらくこの厚生連病院で院長の名前を知らない看護婦さんもおるかもしれない。それはさすがにおらんか！！

たった20軒の内5軒しか賛成しません。どうするかといういろいろ考えたときに、日本の国は民主主義の国、民主主義の国は何かというと多数決ですよ。20軒の内10軒を何とかしなければいけない。一軒ずつ夜な夜な今の振り込め詐欺じゃないですが「まー、何とか10万円以上出してくれ」

とお願いに歩きました。お願いに歩く時は普通全員歩くが、全員歩いたらだめです。とにかく隣のおっさんの悪口を言うたらその人が入ってくれます。わかるー！一軒飛ばしで。一杯飲ましたらみんな言うからね。それを二人だけの秘密にしようとするが皆ばれる。これが安倍さんの付度の失敗。まあどうでもいいんじゃが！

そういうことで20軒の内12軒に賛成してもらいました。出資金を200万円プラス運転資金100万円で300万円。300万円の内280万円用意できたが20万円足りない。そこで誰が活躍するかというリーダーがとにかく人の世話をする。金を余分に出さなければならない。段取りをする。田舎のリーダーほど損するものはおらんからね。だから世話する人がいない。自分がやろうと思ったら、やらなければいいのに金まで余計に出して、文句言う人がいちばん遅くに入って、一番ただ酒飲んで帰る人が、一番根性の悪い人が最後に入る。そういうことで法人を作ったわけです。法人の農業機械は、全部出資してもらっているけど法人の持ち物だから、個人が使って、もし壊れたときにも、全部自分（リーダー）が、おまえこれだけ払えと言えます。12軒からスタートした法人も今は1軒だけ残って、あとは全員しっぽふってわしも入れてくれんかのう、あん時入ろうと思っていたが。ということを書いて次から次へと入られて全員入っております。「おくがの村」は、津和野の駅からタクシーの深夜料金で7千円かかるところです。そこへ富山からは来ておりませんが、北海道から屋久島まで日本全国から視察に来ておられます。今総延べ人数が2万5千人くらい来ています。その大型バスが津和野から上がって来るのですが、そのバスを見て「おくがの村」だけいい事して、わしらの村もいい事しようと5年毎に法人ができ、今、津和野から上がって来る道中に12法人が出来ております。どこの法人もとにかく地域を守るが第一主義。と言うのは何かと言うと昔の田んぼを大きくするのに国の力で圃場整備をしてもらう。国の金が入っているから百姓を止めるわけはいかない。しかし止めたい百姓はかな

りいる。誰が受け皿となるかを集落で決めて組織を作ってやる。後はどうするか本当のところ私もわかりません。今から先のことを言ってもいけません、5年後の農業どうなるか誰に聞いてもわかりません。農水大臣も安倍さんもわからない。トランプの一言でどう変わるかわからない。気象が変わってどう変わるかもわからない。原発が爆発して東北方面がダメになったが、韓国の原発が爆発したらどうなるかわからない。先は見通せない。それなのに農業だからと誰が言える。親が子供に。官公庁が判らんこと言って海外輸出しろと行って、誰が買ってくれますか。我々は、この国から頂いた補助金で圃場整備したから、地域を守らなければならない。個人個人の時のように、隣に蔵が建てば腹が立つではないですがやっぱり小農連合、小さな農家が集まって一つの法人を作って、病院もそうでしょうけど小さい所が淘汰されて大きくなる。でもそれが大きくなりすぎると、今度はそれぞれが権力をもって反対した者をいじめる。だからうちの法人小農連合は、昔で言うと今でもそうですが転作配分、今年から国の方針が出ましたが、最終的な転作配分する面積が、集落がうちの法人の組織メンバーです。そのメンバーが集まって何をするかという個々ではできないことをする。先ほどのビデオに出てきたヘリの事ですがこれも随分前からしています。たまたま、わたしがこのヘリコプターの事で、プロジェクトXというNHKの番組にこのヘリコプターのこと出た。そうしたら益田の税務署の職員が見ていて「糸賀さんヘリコプターを飛ばしているが、あれは購入したんですか」と聞かれた。いろいろあって3年間税務署とけんかして、とうとう最後に別の法人作るからそれで我慢してくれということで、しかたなく、「わくわく津和野協同組合」を作った経緯がある。法人間が連携して、ヘリコプターやWCSで稲を刈ってロールにして牛の飼料にする。この担当が8万円。ガソリンスタンドも農協止めて個人がしている。

(定住が増える集落)

それで、うちの一番大事なことは何かという

と、人さらいです。これをしないとどうも間に合わない。田舎にある集落の中で、どこもかしこも人がいないわけではありません。ここから通勤距離30分から1時間半以内に家があって、町から通ってくるのが最高です。家でまったく百姓をしなくても良い、朝晩通えばよい。土曜日曜も百姓をしなくてもよい。とにかく風景を見ておれば良い。親が亡くなればその息子が確実にせざるをえなくなる。それを50歳くらいで管理職になっているのに、今度の日曜日に草刈だから出て来いと言うと来なくなる。雰囲気は分かっているから、おればさえ良いんです。それから爺さん婆さんはとにかく毎食焼酎飲んで、帰ってくる息子にグジグジ言わない事。焼酎飲んでコロッと寝る事。朝早くから起きて草を刈る事です。それとね、草刈が一番大変なんです。今、うちは再圃場整備をしている。畦畔はコンクリート張り、それより長い所は田圃の畦畔にゴルフ場をつくる。生え芝、ゴルフ場の芝を貼る。そうすると年に1回草刈で済む。草刈を何とか解消できます。草刈とはどんなもんか、しておられる方は分かると思いますが、自分なんかは草刈っている間あそこまで刈って早くビール飲みたいと思っています。

ビデオに出ていた金田君、鎌倉から来ておった半農半Xの子いたでしょ。あの子草刈が趣味なんです。東京の説明会へ行って、たまたま本人の履歴書を見たら東京農大3年中退と書いてあった。これは良いかと思って東京会場であった時、なんで、東京農大3年で辞めたかと聞くと僕ひきこもりですと答えた。小学校と大学はひきこもりで、とうとう学校へ行かなかったそうです。うちのところに曹洞宗の寺があるからそこに住めと言うと、僕のお父さん牧師です。土曜日曜は何しとると聞くと、「ガードマンをしている。」「そんなもんひきこもりかい!」「はい!ひきこもりです。」お父さんお母さんが糸賀さん頼むからの一言で預かることになりました。来てから笑いもしない話もしない。わしらが皆で、事務所でビール飲んでいると鼻歌歌いながら草を刈っています。たまたま、鳥根県の定住財団が都会からくる人に、鳥根

県は柿本人麻呂伝説で和歌発祥の地なので、農村の楽しい和歌を募集していました。そこへ応募した。「歌わせて ポップにレゲエ ラブソング 刈って払って ブンブンブン」で応募したら2等に入賞して5万円貰って帰りました。その子が東京会場を出たので「お前、他のところを聞いたのか」と聞くと、「糸賀さんのところしか行っていません」と言う。その時髪の毛が腰まであった。こんな人が来たらどうしようと思っていたら、来ると言った。そしたら丸坊主で来ました。まー!こいつには参った。今は牧師の娘と結婚して一応こちらに住んでおります。

これは漫談代わりに聞いておいて下さい。鳥根県の定住財団が、研修に来ると月15万円くれます。農家あるいは法人に居れと言います。1年居たら180万円、一応3年間働いています。すべて自前だから3年間貯めている。トレーラーハウスを買って、「おくがの村」の山のすそ野に住みたい。27歳ですよ!県からの補助金全部使わないことにして、コメはうちが無償提供しました。その子は1日6合食べる。米作っているから「飯だけは食わせるからのう!」と言うたのが失敗。普通、飯だけ食わせると言うよね!それを何ほいじめても、家を作ると言うことを聞かなければならない。定住だから。補助金無くなったら逃げるといのは何度も経験しています。残らせるためにはそこへ家族を連れてくる。資産をやる。家を作る。これで定住です。お蔭でうちの人口が増える。今から子供が生まれるので、今十何人ですがプラスaになる。そんなことをしています。(農政の課題と展望)

あとは、国とのつながりですが、やっぱりここで言う県の職員、富山も農水から出向してきていると思います。やっぱり県の職員との繋がりを作りながら国の反響というか、我々の思いを伝えるのに政治家はダメですね、思うでしょう。政治家より積み重ねの農協職員、県の職員、国の職員をどう洗脳して要するに地方を歩かせるか。やっぱりどんどん、いろんな情報を上げるか或いは反対にそこに顧問に来てくれる人を大切にして、そ

れが国に物申すと、いろいろな反響があると思う。そのいい例が、山下惣一さんという佐賀に農文学者がいますが、この人が全国農業新聞のコラムに一時期国の悪口ばかり書いていたら国から破門になった。今になってポチポチやっていますが、だんだん論評が柔らかくなってきている。つまらんものは、つまらん。つまるものは、つまる。応援するものは応援する。はっきりしなければならぬ。まあ、この厚生連もおそらく今回の農協改革のなかで、どこかでちょっと引っかかっています。

何で草を刈るか？ 藤原正彦さんは、今で辞めました。週刊新潮のコラムでズーと連載していた、「国家の品格」を書いた方です。藤原正彦さんの国家の品格の中に何が書かれていたかと言うと、ノーベル賞を受賞した地域を、集落を訪ね歩いた。その集落は何処も奇麗だったと書いてあった。それを見てわしら草刈るのは、そこに住み、子供が綺麗な風景を眺めると、いずれノーベル賞を貰えるじゃないかと思えます。DNAがDNAだから無理だけれど、でも、爺さん、婆さんにDNAをセッティングするには孫が綺麗なところに住んどれば良い。精神的にということ。要するに環境整備はわしらの仕事だ。ということで草を刈れと言っています。セイタカアワダチソウは、うちの集落で誰が来ても採るのはおそらく大変です。無いのだから。取って歩くのだから。癖の悪い所はラウンドアップの原液をかけてやっつけるわけだから。これねー！集落営農やるところ、だいたい国そのものが中山間地直接支払事業というのを作りました。皆さんご存知ないかもしれませんが。国の税金で、中山間地直接支払事業。ヨーロッパでやっている国境警備と同じように、田舎に住んでおるから金やると言う。先ほど見たビデオを撮った元島根県の農林水産部長高木さんという方が帰って食糧庁長官をしました。その時にこの事業が出来たんですよ。「おくがの村」を見習って中山間地に住んでいれば、急傾斜で反当り2,100円、緩傾斜で8,000円出そうと言う。農家に反当り現金で直接払うと言うのを。ところが財務省が

グジュグジュ言うて、半分を農家に支払ってもいいが、半分は皆で使えと言う事業ができたお蔭で、今そのような制度に取り組んでいる集落は、どこへ行っても田舎が綺麗になりました。もともと県の土地、町の土地じゃなくて農道ののり面なんかも、その金があるからできます。平場でも金くれということで、農地水環境何とか払、環境払いと言う金なんです。これが今、反当り8,000円かな、平場でも出る様になりました。それでどこの農村風景も綺麗になりました。今までは田圃に生えていたところを農家個人の責任で刈り取っていた。ところがそれに国から金が出るから手当が出るから、極端なことを言えば、その金を一個人にあげるだけでも、うちの集落で年間200～300万円の金が入ります。その金を一人にあげるだけで、その人が、極端なことを言えば毎日草を刈り、道路清掃するだけでも、一人は300万円の給料取りができる制度ができます。それを、みんなで話し合いすると、その間で金があっち行き、こっち行きで、これだけの金をバラバラにしたら1,000円2,000円のために仕事をするようになってしまいます。国の制度をうまく使いながら、そう言う様な人を雇用と言うか、こずかい、自分でとにかく弁当持って手前でやってくれれば助かります。うちの集落でも、34～35年前ですが、それまで私は30歳代で若い者集めて遊びに行っていた。39歳になってこの責任者をしなければならなくなったから、それから貧困生活が始まった。人に世話をするようになった、自分もしなければならぬ。そんなことをやってきて、一人死に二人死に30年の間にうちのメンバー半分が死にました。やっっこしいおっさんは皆死んだ。今、再圃場整備に取り組んでいます。だれも文句言う人がいないので、わしの思う様な圃場整備ができます。一応、日本で一番、中山間地での最先端の圃場整備がうちでできる。畦畔全部幅2m、軽トラック乗りながら稲の生育を見ることが出来る。ヘリコプターで防除する。今度秋は、軽トラックから田植機に勝手にボタン押していたら車庫から出てきて植えてくれない。現場まで持って行ってセットし

なければならない。セットしたら乗っ取るだけで
缶ビール片手に、ラジオ聞きながら乗っていたら
それで稲刈りも、田植も済んでしまいます。そう
すると中山間地でも一人で、たとえば10町歩20
町歩の管理ができます。何に人がいるかと言うと、
オペレータと、優秀なオペレータと、機械を扱え
るオペレータと3人がいたら、それで田圃ができ
ます。30年携わってきたら30年前植えた桜の木
が大きくなって見事よ！一緒になっ取るから皆さん
と一緒にしたから。何でこの道路舗装になるん
かい！誰がしたんじゃ！町長がやってくれたんか
い！町長でも何でもありません、集落の世話をす
る人が、そういう国の金を集落の金を、うまいこ
と使ってやっていたら、100%うちなんか農道舗
装です。もちょっと言うと、ちょっと広い所を舗
装する。今頃は田舎の方は、救急車が来るよりヘ
リコプターで来た方が早い、ドクターヘリの方が。
富山はどうか知らんけど。そりゃあ、うちに救急
車が来るのに30分係る。ヘリコプターで出雲空
港から30分で来る。より高度な医療に掛かれま
す。これいいかもしれないけれど、ピンピンコロ
リで救急車の中で、あっち行ってもろうた方が反
対に楽かもしれない。わたしも大病を患って、う
ちの集落の皆さん方が、あんたが死んだらどうな
るの！ 知るかい！ そんなこと！ 死ぬつもり
でやっているわけではありません。死ぬときは交
通事故で死ぬかもしれない。いま訳が分からな
いから、おそらく、このことで何時バンバン撃た
れるかわからない立場なんです。死んだらどうなる
かと考えたときは、「おくがの村」はやせても法人。
役員もおる。もちょっと大きな声で言うと「わく
わく協同組合」もある。もしわしが死んだときに
は、ほかの役員なり他の法人の連中が、とりあ
えず面倒見てくれると思います。個人農家の場合
はそうはいかない親族やから。そういう意味では
わし何時死んでも安心している。も一つ言えるのは、
自慢ではありませんが私の息子がシクラメンの栽
培をうちの集落でしています。花づくりを。ええ
嫁さんも孫もおります。何時でもこいつがやっ
てくれます。とりあえずわしが、あまりやかましい

ので、知らん顔して見て見ないふりをしています。
金が無いときは、うちの婆さんがお父さん車買
うから50万借りるから。取っとけや！そんなも
んです親子は。

ほんと5年後の事は誰もわかりません。政権ど
うなっ取るかわからない。民主党になって一時期
喜んだ。喜んだが、あの愚かな政権がと安倍さん
が正々堂々と言うからね。その反論をようしない。
国会議員あてにならん！森友なんかどうなの！あ
のままほっといていいのか！おかしいよ！その
ところを、皆さん方一人一人の力でどうこうなる
もんでもありませんが、やっぱり日本の国、皆お
となしくなった。言う人がおらん！いけんことは
いけん！ええことはええ！特に大学の先生！ちゃ
んとせいよ！今日おってないちゅうけど！今本
当、全部の大学の先生も日本の農政に加担してい
る。鈴木宣弘くんだけだ。TPPをやってから。
今ひとりあの方が、一番ボロと言うか、いじめら
れているというか。とことんやるぞ！やらなけれ
ば！悪いのは悪いのだから！

今日は厚生連と言うことで、本当、厚生連の大
庭政代先生が農村でも医療をせにゃいかんと言
うことを日本で初めてやってくれて。それをモデル
として全国に厚生連の運動と言いますか「利のた
めに節をたがえず」やからね。新規事業に果敢に
挑戦していかなければならないが。金儲けのため
に節を違えたら空きません。どこの厚生連でも大
庭政代さんの写真が飾ってあります。入院してい
た益田の赤十字病院ももともとは厚生連でした。

何かみなさんの方から質問があれば、何の質問
でも、帳尻を合わせます。後は、記憶にございま
せんで、済ませます。

質問)

砺波農林振興センターのIです。15年ほど前
に糸賀さんの話を聞きました。今日は糸賀さんが
来られて、おくがの部落の話を聞いて、あー！こ
こまで辛抱されたんだなと思って感動しました。
富山県の集落営農は680あって法人が425程あり
ます。ですが結局今仕事でもそうですが、なか
な人がいないし、人が呼べない。今プランとして、

法人同士が合併したりとか、連携しなければいけないという話を考えてはいるんですけど、今糸賀さんの話を聞いたら、やっぱり日程じゃだめなんだなあ、集まる理由があるのだなあと言うのが判りました。企業組合とか協同組合とか言われていて、単に合併するだけだったら、どっちが主導権を取るかだとか、結局やっていることが変わらんと言うことになるんですが。そこで伺いたいのは、協同組合となった時にだれが事務局とか、取り仕切りとか、東京に行く段取りとかを農協とか昔の普及所とかあるいは自分でやるものなのか、そこをどうやっているのか、事務局を誰がやるのか教えてください。

糸賀)

事務局は、うちの隣の法人の事務局がやっとなる。そう難しい話ではない。

細かいことを言うが、たまたま今年の正月に細田氏が、その会の親分が、先ほどぼろくそに言いましたが、少数民族と言われました。その人に言われていることは、肝心の話、国が「わくわく協同組合」みたいな組織を作らせて、そこへ常時2～3名の方を、国の職員を置いて補助金で雇う。給料30万円くらいでどうですかと、皆さんの前で提案がありました。やるからのー！議員立法で作る。30万円は高いから15万円にしたらと言った。それがたまに、農業新聞に載ってくる。それを今から作らせる段取りを東京でする。そうなれば、この富山でも、五つ六つの法人を集めて協同組合を作る。その中に3人、事務員さんオペレータも含めて、一応、5年計画で抱えて、その方たちにオペレータをやってもらってもいいわけなんです。それが一つの方法と、後は、成るようにしかならん！要は、おまえら心配してもらうまでに、それみとる集落における人間が何とかするから、その心配あんまりするな。それやるなら本気でやるなら国会議員にでも出たらよい。本当の冗談。理論武装して、そうでないと、あんたらがわしらの心配してもらうのが、一番腹が立つ反対に。要らん心配するのは、他向いてやれ。農協職員も働き方改革で、県職員も副業で、250万円で働いても

良い。働き方改革で兼業禁止が兼業有になった訳で、非農家の人も。そうすると、県職員も特にそう。週のうち半分か、週一で百姓すれば良い。鳥根県は特にそうですよ。県庁は松江で、石見から県職員になるでしょう。わしら公務員じゃあいう顔していっぱい家作って、みんな顔見慣れているから。これで首切って給料半部払うから、リーダーをしたらどうか。これが働き方改革だ。県職にいてもいい仕事ができない。子作りも要せんし、おってもらっても困るので、田舎に帰ってもらって、また次の若い者を雇えば雇用促進になる。そういう手があるな。おそらく選択定年今あると思うんですが、うちの部落は50歳から選択定年です。自分の好きな時にできる。もうひとつ世の中の派遣職員じゃあないけれど5年契約で農協に採用するとか、5年たったらもう次行くぞ！大きな銀行は皆そうしている。終身雇用の銀行なんか無いからね。皆べっぴんな子を5年雇っては、上司が手を付けて、はい次結婚、はい次結婚でやり替えるのが銀行の女子職員のカウンターガールだ。それが家の息子の嫁さんです。うちの息子も興銀のカウンターガールと結婚したら、興銀の店長が今度就職したらパートのおばさんだからと。給料ガクンと下がって、その繰り返した。農協なんかは紳士だよ。あれだけ国の悪口言うけれど。銀行もやりにくくなるけども。こんな金利で銀行喰えるか！うちの法人作った時農協の定期した時どれだけだったと思う。利子が4%ですよ。10年おいたら定期が倍になる。いまどれだけ？0.01%それに利子税2割とられるから。今、当てにならないから。トランプがしたことで値が変わる。会社が儲かったとしても損よ。今、一番自信持っているのは中山間地の百姓だ。自分で作って自分で食べるから。これだからね！

1月29日だったか、津和野高校の一年生、今50人で二クラスある。50人のうち10人が県外から来ている。鳥根の海士町も県外から来ている。その子たちに、たまたま農業機械を買ってくれた学校の先生が、糸賀さんわたし授業一つある。英語の先生ですよ、ふるさと教育しなければならな

い。一回来て話してくれと頼まれた。バカたれ！
わしいかん！うちの息子の孫が一年生にいるから。「おくがの村」にみんな連れて来て、まず腹ごしらえしてやらにゃいかん。カレー作って、ご馳走作って、飯炊いて、カレールーをたくさん入れて自分が食べたいだけ食べさせて、それからわしの話をした。何の話をしたかと言うと、人間、無かったら死ぬ物は何かと聞いた。それは空気だろう！空気無かったら死ぬ、口から食べ物でしょう。後何があると思う！着るものとかなんか以前の問題です。生きる為だけです。空気は無ければならない。口から入らなければならぬけど、口から入らなければ点滴でもいいけれど。要するに生きるために他に何が必要か。では、鼻があって口があって、耳があって目があると言うことは、目の役割は何ですか。見えるじゃなくて光だと思う。光と空気と口から入るもの水でもよいが、この三つが無いと生きられないと思います。反対に出すものは何か。まず二酸化炭素が出る、冷汗もでる、おしっこもでる、うんちもでる。先生もいたので、先生にうんちの漢字を書いてくれと頼みました。ところが、このうんちをわしらは何と言うかと言うと「クソ」って言う。「クソ」と言う漢字を書くと、米を書いて田を書く、米が異なると書いて「クソ」でしょう。高校の先生も知らない。「クソ」が付く熟語はなんですか。わしなら「クソじい」「クソばばあ」だ。他に「やけクソ」と言うものもある。「クソ」が付く熟語があまりない。おまえらわかっとなのか！人間食べるものが無いと空気が無いと生きられない。おっさんそういうことを言っている。わかっとなのか！と言うとわかりましたと。そのほか何を言うたと思いますか。生きる為にカネと何人かの子供が言った。カネが無ければ生きられない。東京でもそうでした。わしのカウンターに来た人に聞いた時に、生きるために何が必要か尋ねると「カネ」と答えた。わかった！ポケットから千円出して、食べ！食べられるか？カネ持っっても、物が無ければ買えない。それを今、日本がしている。でも中山間地は土があるから、土に種をまいたら物ができる。沢

山できる。だから中山間地にイノシシ、サルがいる。一緒に共生している。但し、家の中入って着物を着ていないけれど。病院にもいっていないけど。健康に暮らしている。それから高校一年生で今、文化祭を連続にやっていこうと思っていますが、あのクラスになるともう人間食べ物が無いと生きられない。そのためには農業が必要だと言います。わしはこれを聴農制度と言う。それを「わくわく津和野協同組合」という名刺サイズで、「あなたは人間生きるのに食料があると認定されますか」の認定書を出した。日付を入れて。それはそれとしてやって、もう一つは、「わくわく津和野協同組合」で津和野町が小中学校の給食センターで使用する一年間の米の量を300袋あるけど、そのうち100袋を無償提供する。1/3のコメをわくわく津和野の12の法人で無償提供。子供らに食べさせてもよいが、先生らにはタダで食べさせないと言っているが、先生も食べていると思う。地元の産品を食べるように、そして買ってもらうように、極端なことを言えば、津和野の子供らのコメを皆タダで食べさせてやる。その代り津和野のコメは美味しいと言って歩けよと言っているが、なかなかそこまで繋がらないからできない。

あんまり、後継者、後継者の事を言っていると、それ言うだけで何にも仕事をしない人が出てくる。たいしたことないから、全国的なこと、世界的なことでもあるし。さっきの話でキューバなんかの話が面白いかもしれない。有機ならどれだけでも言える。人間生きるんだと言うことで学校教育も哲學家のしっかりした人が勉強したら、農業に行きつく。自分で作って食べると言う。テレビでダッシュ村がゴールデンタイムであれだけカネ懸けて、なぜあんなものができるの。見るところからなんよ。国民がこういう風な雰囲気があるのは確かだ。それ辞めてうちに来い！金が欲しいならここに居ってもいいが。仕事はそんなもんじゃないよ。今度定住した人は駒澤なんよ。哲学部に入っていた。今度連れてきてもいいけど、ほんと！東京の人さらいの時も来る人はピンとキリで真ん中がない。防衛大学3年生とかいう、そんな子

も来る。それでどこ行こうかというひきこもりの子もいる。反対にそっちの方が安い。正規の人を集めて農福連携なんかで金が入る方が楽だ。世話をする方は。田舎にはリーダーが二人いたらもめる。金正日一人でないとだめだ。それがあんまり変な方向に行くとやれなくなるから、うちのわくわく津和野農業協同組合みたいにお互いに牽制しながらやっていくと、だいたい上手くいく。個人の懐にカネ入れるのが見えたら、もう田舎に住まれない。でもこれに気を付けないと、うちの隣の阿東町、山口市になっているけどそこの法人の事務員が4千万円使い込みで逮捕された。国からの事業が増えるほど、直払いの金が入る。農家個人個人は知らない。印鑑預けてあるから。うちの事務所にもうちの組合員の印鑑全部置いてある。うち全部押している。一応、気配り目配りカネ配りができる範囲内で世話をする。ええか！気配り目配りカネ配り！田舎のリーダーは気力体力歌唱力！カラオケが上手でないと田舎のリーダーになれない。と言うことです。

鏡森先生)

折角だから、みんなと楽しいお話をしましょうか。

こういう時富山の人は黙ってしまう。さっきの話ではないが腹の中は真っ黒。これは一番悪いと言われておりますが。私はそうは思っていないんですけど。

富山大学 酒井教授にまとめと感想をお話ししてもらいましょう。

酒井富山大学教授)

久しぶりに糸賀さんのお話を伺いました。

私富山大学にいますけれど、最初に糸賀さんとお会いしたのは、それこそ30年前、丁度この法人が立ち上がったところです。しばらくして、集落営農で全国を回っていたんですが、やっぱ違うのがあるぞう！というその典型として「おくがの村」がありました。5～6人の研究会がありまして、それでみんなで押しかけてお話を伺ったのが最初でした。

その後、東京でお会いすることもありました

し、島根に何回も伺うこともあって、お話は何回もその都度聞いておりました。一番印象に残っているのは、東京のどこかの飲み屋だったと思いますが、そこで糸賀さん一言言ったのが、「いやー！国は“経営体”を追及する、作るって言うんだけど、うちは“自然体”でいくんだ」って言うことが、非常にポイントをついた、路線としては非常にわかりやすかった。今日も、やっぱりすごいな—と思ったのは、村の人の一人一人の分析がものすごいですね。本当にこう表面的な動きが出てくる背景と言うのが、もちろん村の人だから見えるところがあって、だからそれを正確に客観化して、それに対する対応を考えていくと言うのがすごいことだと思いました。同時に、人そのものもありますけれども、その村の分析もすごいなと思いました。先ほど鏡森会長もおっしゃっていたように、誰ひとり取り残さないというのが、SDGsなんです。要するに、新しいつながりが、必要なんだ。それをベースにするのが集落営農だという話だったと思います。最初のビデオに出てきましたように、集落営農は二つの機能がある。一つは農業生産をする。一つは地域貢献をする。と言うことをはっきり言っておられました。実は、富山県も集落営農に力を入れてきています。富山県の集落営農の話聞いても、集落営農の強みは何処ですかと聞くと、一つは農業生産面でコストを色々削減できる。もう一つは、村を守ることができる。村を活性化する。という目的が、ちゃんとして富山県の場合も意識的に追求してきたんだろうと思いました。ただ、どちらかと言うと前者の方に最近の国の政策が偏っているの、そっちの力が入っていると思います。むしろ島根県の場合は、地域を守るのが第一だという事なんです。集落営農は何のためにあるのかと言うと地域を守る、そこが大事だ。一番最初に糸賀さんがおっしゃった様に、個人個人の生き方として理想とするのはピンピンコロリだと言う事です。だから、一人一人が元気である。それで地域を守れる。それによって、つながりもしっかりできてくる。そういうような、昔のいやらしい様な、ドロドロした様な村

じゃないと思います。つながりがしっかりできていくと言う中に、さっき東京から人さらいと言う表現もありましたが、要するに人を集めてくる。人を採用するにしても、入りやすい環境が逆にあると思ったりもしました。とにかく、あまりゴタゴタと言ってしまうのがないんですが。やっぱり、ピンピンコロリが一つのキーワードだと思います。地域を守るっていうのはキーワードで集落営農っていうのも、あの時聞きました。要するに農業をするために集落営農をするのではなく、村人が元気に生きるために、農業があるという位置づけなのです。だから逆なのです。実はこの考え方は、島根県の農業政策にも非常に色濃く反映していると思います。この路線をしっかり引いているのが島根県の方式です。そういう意味で、今日は集落営農の具体的な作り方とか、どういう仕組みだとかといったような、こまごまとした話よりは、その基本にある考え方や哲学と言いますか、それが非常に富山県に参考になるなと思い、今日は是非来てもらいたいなとお願い致しました。

いつでしたか島根に伺ったときに、ちょうど今イノシシが取れたとこだ、ということで、即、しし鍋にしていきなりビールを昼間から飲んでいただけのようなこともありました。そう言う様な農村の雰囲気がある。島根県人口も高齢化しているし、人口がだんだん減ってきていると言うのも事実なんですけれども、そういう中で何かこう跳ね返す力が、しっかりとできてきているのかなと思いました。

鏡森) それじゃいいですか！

おとなしい富山県としては、こんな怪物のような人をお呼びして講演したのはひさしぶりですねー。あまり聞いたことが無い。こういうタイプの人。富山県はだいたいおとなしい人で、中央に繋がっているひとを呼ぶ。だいたい国の政策を広めていく。これが一番健全なんですよ、おそらく。ど迫力、毒気に充てられたような気がします。富山の人は特にこういうのが弱いからね。今日本にいい刺激になったと思います。私が冒頭に、コミュニティソーシャルワーカーのことを言いまし

たけれど、農業を通じて、農業よりもっと大事なことを脈々と作っている人がここにも一人いたのかという感じですよ。

病気で今にも死にそうな状況じゃなかった話になって、4期でこんな元気、ワインでいいんですかねー！これほど元気があるかとビックリしました。常識では考えられない迫力だから。

まあ！これをご縁に、糸賀さんまたいろんな機会、みなさん呼んでください。みなさん、拍手でお礼をしましょう。